

TC 46/SC 4 総会 会議記録

場所：Library of Congress , Washington, D.C. USA

日時：2014 年 5 月 7 日 (水) 9:00-12:00 *実際は 9:15-12:45

参加者：フィンランド 3 (議長 Juha Hakala, SC4 事務局 2)、デンマーク 2 (Leif Andresen、Preben Nielsen)、オーストリア (Galinsky: TC37)、英国 1 (Ed Davidson)、カナダ 2 (Clare MacKeigan、他 1 人)、イタリア 1 (Monomi Paolo)、スウェーデン 1、米国 3 (NISO の Todd, LC の Sally McCallum、他 1 人)、オーストラリア 1、日本 2、韓国 2、フランス 3

オブザーバー参加者：オーストラリア (SC11 議長)、米国 1 (IETF の John)、中国 1、他数人

1. Opening of the meeting

2. Roll call of delegates

3. Adoption of the agenda (N929)

Directives の変更点について、CS の Mary-Lou が来ていないので、12.Other Business のところで ppt の紹介だけする。

4. Appointment of the drafting committee

米国 (Todd)、フランス

5. Approval of the 2013 meeting report (N880)

特に問題なく承認。

6. Action items from the previous meetings

6.1 MEDONA, the French national standard providing a model for data exchange in archiving

AFNOR が、2013 年にフランスの国家規格となった MEDONA(Data Exchange Model for Archiving)を紹介するプレゼンテーションを行った。MEDONA は、アーカイビングのためのデータ交換モデルで、前回のパリ大会でも情報提供がなされていたものだが、今回のプレゼンの結果、ISO 化に向けて動き出すことになった。METS 等の既存規格(特に ISO 規格)との関係整理や SC4 と SC11 との間での調整、ISO 規格としてのスコープ設定等について検討の必要性が指摘された。AFNOR が、フランスの国家規格を基に NWIP のドラフトを作成することになった。 [Resolution 2014-1]

7. Report of the Secretariat (N912 and Voting Report N916)

議長が説明し、承認された。

8. Working Group reports and work item reporting

8.1. Working Group reports

8.1.1 TC 46/SC 4/WG 11 RFID in libraries, Leif Andresen (N913)

WG11 の規格出版後の継続、現コンビーナの退任と新コンビーナの指名が提案され、承認された。 [Resolution 2014-4]

8.1.2 TC 46/SC 4/WG 12 WARC, Clement Oury (N914)

議長がコンビーナからのレポートを代読した。

8.1.3 TC 46/SC 4/WG 13 Cultural heritage information interchange, Nicholas Crofts (NXXX)

同規格は、現在、出版プロセスにある。コンビーナからレポートの提出はなかった。

8.1.4 TC 46/SC 4/WG 14 Interlibrary Loan Transactions, Leif Andresen (N915)

WG14 の規格出版後の継続が提案され、承認された。将来の改訂準備のための WG 継続の必要性について、質疑応答がなされた。 [Resolution 2014-5]

8.2. Work Item reports

8.2.1 ISO 10160 and 10161, Juha Hakala

古い ILL Application Protocol 規格。マイナーリビジョンを行っての FDIS 投票がはじまった、との紹介が議長よりあった。8.2.2 Activity Report of JWG for EPUB (N917) and report from ISO 639 JWG meeting

JWG for EPUB は、JTC1/SC34 における TS 化が止まった状態である。連携相手である IDPF との今後のメンテナンスに関する協議が、ISO/CS の担当者が変わった後進展しなくなったことによる。JWG の目的は METS を EPUB 仕様の中で使えるようにするプロファイルの作成であるが、これも、TS 化の遅れによって進展がない。この件については、議長として ISO 中央事務局と話し合う必要があると考えている。 [Resolution 2014-6]

言語コード ISO639 の JWG は、ベルリンで行われる TC37 大会でワークショップを開催する予定である。また、TC46/SC4 から JWG のコンビーナを指名するよう動くことが提案された。 [Resolution 2014-7]

9. Registration Agency and Maintenance Agency Reports

9.1 ISIL Registration Authority (ISO 15511) Danish Agency for Culture (N918)

ISIL の RA は、現在 26。新規追加はなかったが、今後は増やしたいと考えている。

9.2. Maintenance Agency ISO 23950 (NXXX)

ほぼ安定状態であり、動きはない。関連して議長より、SRU の IS 化を近い将来考えて

いる旨の表明があった。

9.3. ISO 639 RAs, Library of Congress (N919)

639-1 は安定化を目指している。639-3 には約 30 の登録が行われた。

10. Liaison organisation reports

10.1 Dublin Core Metadata Initiative ISO 15836, Leif Andresen (N920)

DCMI の活動報告があったのち、議長からダブリンコアの ISO 規格化について次のとおり進める計画があることを説明。5 年ごとの定期見直しの際に、既存 ISO15836 を拡張し、Dublin Core Metadata Element Set を Part1 として、DCMI Metadata Terms を Part2 として策定する。ファーストトラックで規格化したい。10.2 INFOTERM, Galinsky

最近の標準化に関する話題として、1)言語文化の多様性と電子的なアクセシビリティ、2)言語産業 (language industry)、3)著作権隣接権と権利のコード化などに取り組んでいることが紹介された。特に、著作権保持者や利用制限に関するメタデータについては、他の参加者からも興味を示され、Europeana やフィンランドの事例が紹介された。

11. National Body reports

ANSI/NISO から、NISO 規格として、OAI-PMH が本日 (2014 年 5 月 7 日) 出版されたことが報告された。

12. Other business

ISO/CS の Mary-Lou の用意した directives の変更に関する文書 ,What new in ISO[PPT] (N930) が代読された。

13. Future Meeting Schedule

次回会議は、2015 年 6 月北京での開催を予定。

14. Approval of Resolutions

以下の概要の決議案が検討され、全て承認された。

[Resolution 2014-1]

SC4 は、AFNOR に対して、フランスの国家規格である MEDONA と既存の ISO 規格 (特に ISO/TC46/SC11 関係の規格) との関係を見直しを求めようとする。SC4 は、AFNOR に、MEDONA を基に NWIP ドラフトを作成し SC4 へ提出することを勧める。SC4 の議長と事務局は、AFNOR の MEDONA に関する代表者および TC46/SC11 の代表者と会合し、このプロジェクトにおける SC11 との協力・相互関係について議論を行う。

[Resolution 2014-2]

SC4は、WG7 - Data elementsを解散する。

[Resolution 2014-3]

SC4は、WG 10 –XML Holdings Schemaを解散する。

[Resolution 2014-4]

Leif Andresen のWG11 – RFID in Librariesのコンビーナとしての貢献に感謝するとともに、W11の新コンビーナ（2014年5月～2017年5月）としてPreben Aagaard Nielsenを指名する。SC11は、ISO28560の将来的な開発と維持管理のために、WG11を継続する。

[Resolution 2014-5]

SC4は、ISO18626 - Interlibrary Loan Transactions の出版後もWG14を継続させ、ISO18626の必要な改訂に資するために、運用状況の支援・収集・評価を行う。

[Resolution 2014-6]

SC4事務局と議長は、ISO/IEC TSとしてIDPF EPUB を出版できるように、JWGの作業が進む方策について、TC46の事務局およびISO中央事務局と話し合いを行う。

[Resolution 2014-7]

SC4は、JWG において、TC37/SC2がTC37/SC2/JWG7の管理的役割を果たすこととTC46/SC4がコンビーナを指名することを勧める。SC4はコンビーナの候補者を挙げ、その承認はTC46/SC4とTC37/SC2の両方で行う。

[Resolution 2014-8]

SC4 は、IETF に A リエゾンとして SC4 と提携することを勧める。SC4 事務局は、ISO 中央事務局と協議してこのリエゾンの確立を行う。

[Resolution 2014-9]

SC4 は、NISO、ANSI、米国議会図書館、米国国立公文館と今回会議のスポンサーに感謝する。

[Resolution 2014-10]

次回のSC4総会は、2015年6月に中国北京で行われるTC46総会に合わせて開催する。